

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

■学修領域（教育分野）

- ①情報科学
- ②プログラミング
- ③人工知能
- ④コンピュータ技術

■カリキュラム編成の基本方針

本学科では、技術革新が急速に進む高度情報化社会をハードウェアとソフトウェアの両面から支える専門的職業人及び教育研究者の人材の育成を目的としている。

そのため、専門科目の理解に必要な数学や物理学の素養、電気・電子回路やコンピュータアーキテクチャなどのハードウェアの基礎知識を修得した上で、プログラミングやアルゴリズムといったソフトウェアの基礎から、人工知能やヴァーチャルリアリティなどの応用技術まで、講義や実験・演習を通じて、幅広い知識や技能を身につける。また、社会の一員として活躍していく上で求められる技術者としての倫理観や汎用的スキルをアクティブ・ラーニング型の授業も行いながら身につけさせる。さらに、卒業研究やプロジェクト型学習を通じて、総合的な学習経験と創造的な思考力を向上させる。

■年次別科目の配当方針

1年次には、専門基礎科目の理解につながる物理や数学を学修した後、ソフトウェアではCプログラミング、ハードウェアでは電気回路などの基礎知識を学ぶ。

2～3年次では、情報工学の専門的な内容を学び、学問相互の関係を明確にするとともに、実験や演習を通してソフトウェアとハードウェアの応用力を身に付ける。

4年次の卒業研究では、最先端の情報工学技術をテーマに、研究の方法論、実験やシミュレーションの方法を学び、問題解決能力を身に付ける

■学修成果の評価の在り方

学修成果は授業計画（シラバス）に則って評価する。2年次と3年次終了時に学修到達度を評価し、進級判定を行う。4年次終了時は、学修到達度及び卒業研修活動から情報工学技術者に求められる知識、技能、態度、行動に関する到達度を総合的に評価する。